

まちづくりの基本方針

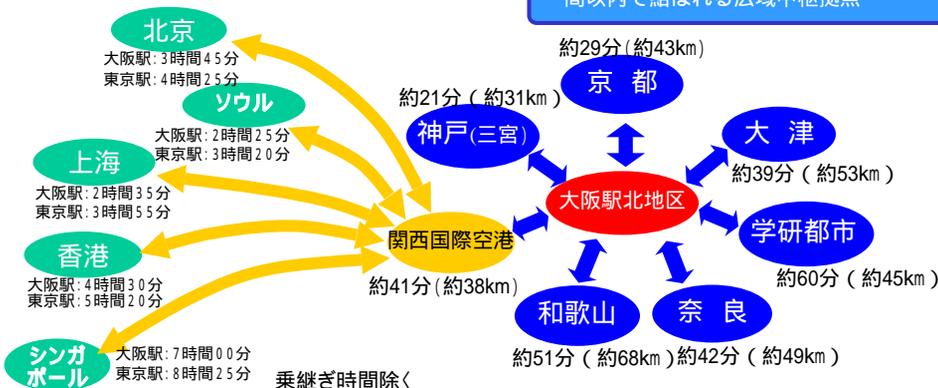
《大阪駅北地区のポテンシャル》

世界につながる

JR東海道線支線の地下化や新駅設置を図ることにより、関西国際空港とのアクセスを強化し、東アジア経済圏との交流に対する優位性を確保

関西の広域中枢拠点

都市間鉄道により、関西主要都市と1時間以内で結ばれる広域中枢拠点

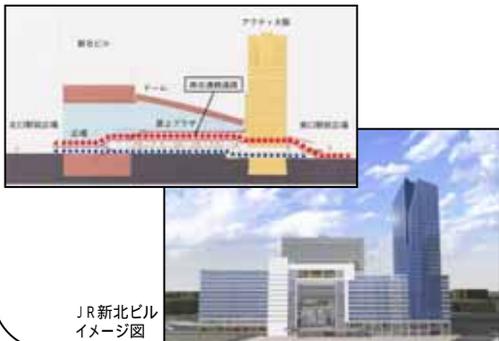


梅田を拡げる

JR大阪駅の改良計画とも連携し、周辺の開発拠点相互のネットワーク化を図り、大阪駅周辺の歩行者動線の回遊性・連続性を向上

「知」の結節点

関西に分布・集積する大学・研究機関や産業拠点を結び、新産業・新技術の創出や情報発信を図る



《まちづくりの5つ柱》

世界に誇るゲートウェイづくり

アジア・世界へのゲートウェイをめざした国際的拠点としての機能強化と空間形成

- ・JR東海道線支線地下化・新駅設置による関西国際空港とのアクセス利便性の向上など、広域交通ターミナル機能の充実
- ・関西・大阪圏の玄関口として象徴的で風格のある駅前空間の創出
- ・国際的なビジネス拠点の形成 など

賑わいとふれあいのまちづくり

人々がまちに集い、賑わい、ふれあい、まちでの活動を楽しむことができるまちづくり、歩行者主体の空間形成

- ・賑わい軸における華やかで賑わいある空間の創出
- ・賑わいネットワークなどによる回遊性の高い歩行者動線ネットワークの形成
- ・人々の交流と賑わいの場を提供する都市機能の集積 など

知的創造活動の拠点(ナレッジ・キャピタル)づくり

新しい産業・技術、文化・価値を生み出し、関西から世界へ発信する知的創造拠点(ナレッジ・キャピタル)の形成

- ・関西のシーズと世界の人材・知識の交流の場
- ・人の交流による新技術・産業・価値の創出の場
- ・市場ニーズの把握と開発・商品化のための交流・展示拠点 など

公民連携のまちづくり

まちの魅力の向上、効率的な運営管理をめざした公民連携による一体的なまちづくり

- ・公民協働による水・緑の景の創出や広場の空間形成
- ・公民連携によるエリアマネジメント組織 など

水と緑あふれる環境づくり

まちで活動する人々にやすらぎとゆとりを与える水と緑豊かな都市環境の創出

- ・シンボル軸における立体的な緑の空間と水のネットワークの主軸の形成
- ・ストーリー性のある水環境の創出
- ・多様な緑のネットワークに包まれたまちづくり
- ・賑わい軸における商業施設と一体となった木漏れ日のある緑の空間の創出 など

東アジア経済圏や関西圏などの国際・広域中枢拠点の形成

梅田地区の中核として、開発拠点間の連携強化を図り、周辺地域へ開発インパクトを波及
《「大梅田地区」の形成》

まちの骨格の形成

御堂筋、四ツ橋筋等の既存の都市軸や、JR大阪駅を始めとした鉄道ターミナル、梅田、中之島等における各開発拠点等との連携を図り、広域的に市街地再生が波及するまちづくりをめざします。

都市軸や開発拠点との連携を視野に入れながら、まちの風格づくりに資するため、新しく生まれるまちの骨格づくりを行います。

まちの骨格は、まちに異なった雰囲気醸成する帯状の空間である2本の軸 - 「シンボル軸(南北軸)」と「賑わい軸(東西軸)」 - そしてまちへの誘いを呼びかけるスポット的な空間である広場(駅前広場)とで構成します。

こうしたまちの骨格は、周辺地域とのネットワーク化を促し、人々が楽しく快適に回遊できるとともに、まちに活力や賑わいを創出する空間を提供することになります。

1) シンボル軸 南北軸

シンボル軸は地区を南北方向に縦断する帯状の空間をイメージしています。このシンボル軸は、水と緑を大きく取り入れ、道路空間と民間敷地の空間及び建築物が一体となったゆとりと高い格調を持ったシンボル性の高い空間を形成します。当地区の風格と活力を生み出す基軸であり、さらに都心地域全体へと波及させていくものです。

2) 賑わい軸 東西軸

賑わい軸は、地区を東西方向に横断する帯状の空間をイメージしています。この賑わい軸は、歩道と建築物の低層部が一体となって華やかで賑わいのある空間形成を図り、阪急梅田駅周辺の賑わいを当地区に呼び込み、さらに新梅田シティ方面へと誘導するものです。

3) 広場 駅前広場

広場は、JR大阪駅に面するスポットとして新しい大阪の象徴となる空間をイメージしています。この広場は、シンボル軸をはさむ形で東と西に設け、シンボル軸と一体となって当地区への来訪者を地区内へと誘導します。

東側の広場(北口広場)は、シンボル性が高く、アメニティ豊かな空間を持ち、集い、憩い、交流する場となるとともに大阪駅周辺における歩行者交通の結節点となります。

また、西側の広場(西口広場)は、北口広場との一体的な空間形成に配慮しつつ、適切な交通機能を確保し、ターミナル機能の強化を図ります。

都市軸の設定と広域的な市街地再生への展開



導入する都市機能・土地利用

1. 導入する都市機能の基本的な考え方

大阪の新しい都心機能として、国内外の人が都市生活・都市活動をするのに望ましい水準で、地区の独自性、創造性を持った機能をバランスよく導入することをめざします。

その中核として、国内外に誇れる人・知識の集積・交流する知的創造拠点(ナレッジ・キャピタル)を創り、関西を新たに再生し、世界へ大阪・関西ブランドを発信する機能の導入をめざします。特に、ロボット産業をはじめとする次代の科学技術・産業分野の創造拠点形成をトリガーにし、さらに、文化・芸術など幅広い学術・研究に携わる人たちの交流の場の創出をめざします。

大阪・関西の玄関口としての立地を活かし、多様な都心機能とナレッジ・キャピタルの機能が結びつき国際色豊かな「都市のショーケース」として賑わいを創出していきます。

2. 中核機能の方針

未来の知的創造拠点(ナレッジ・キャピタル)の形成

ナレッジ・キャピタルは、ロボットをはじめとして、IT、健康・医療、ナノテク、バイオ、環境、光技術などの先端科学技術・産業分野で高いポテンシャルを持つ研究開発拠点、大学、企業の関西における分布・集積を活かし、研究者、クリエイター、起業家、企業、消費者などが交流して、次代の関西を担う都市型産業やビジネスを創り出すことをめざすものです。

また、技術・新産業分野と合わせて、文化・芸術や法学・経済学など様々な分野の研究者が集い、交流し、新たな知識を創造し、関西から新しい価値を発信していく総合的な知的創造拠点です。

(1) ナレッジ・キャピタルの機能

当地区は、京阪神の充実した都市基盤のもと、関西の交通の結節点で、人が集まる西日本最大のターミナルであり、関西のもつ先端技術・学術・産業の集積や京阪神の巨大なマーケット、歴史と文化の蓄積と多彩で高質な異分野の融合といったポテンシャルを効果的に活用できる位置にあります。また、日本最大級規模の24時間空港である関西国際空港により、東アジア経済圏ともアクセスしやすい位置にあり、世界との近接性を利用した世

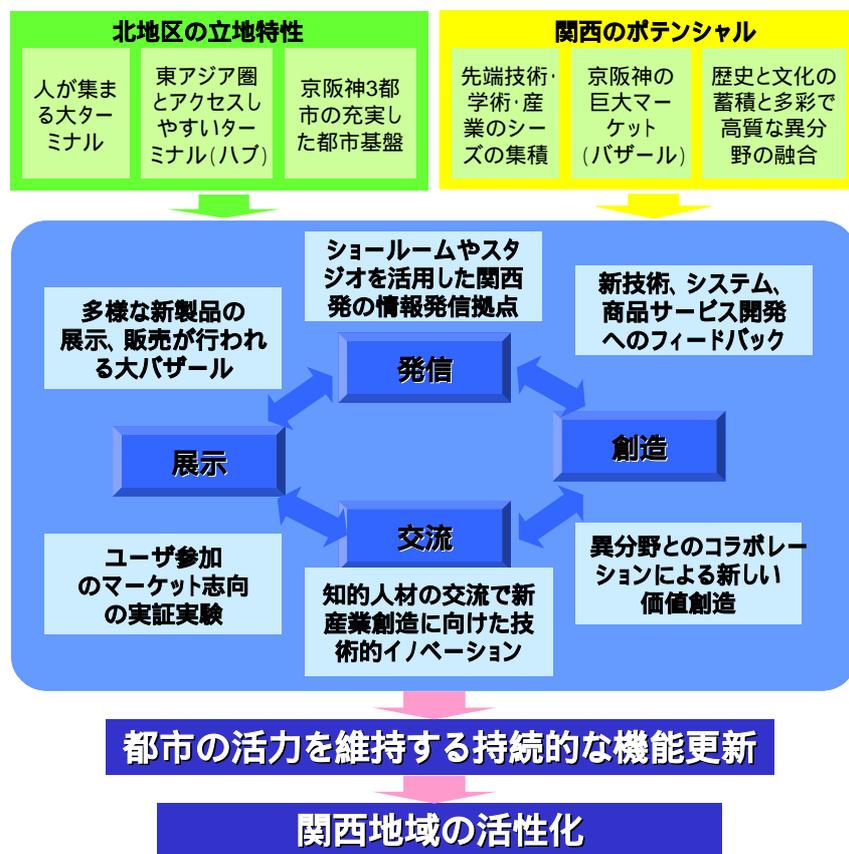
界規模での研究者やクリエイター等の交流が可能な地区です。

さらに、新技術・新産業のマーケットを形成する要因である社会ニーズは、人々の生活シーンから発生しています。様々な生活シーンが凝縮された都心部は、最も早くかつ的確にマーケットの現状や未来を映し出す場所です。

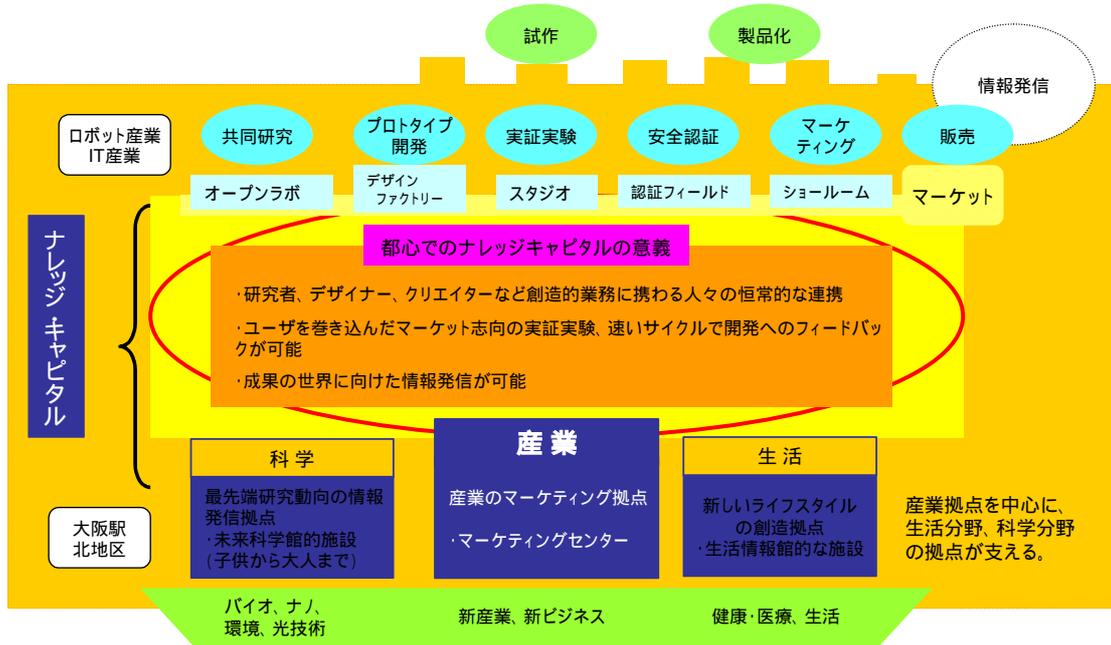
ナレッジ・キャピタルは、こうした地区の特性を背景に、ロボットを中心に、様々な分野の研究者や技術者・デザイナー・クリエイター等の知的人材が組織の枠を超えて「交流」する機能の立地、人の賑わいを利用したユーザー参加型の実証実験などを通じてマーケットのニーズを新しい技術やシステム、商品開発へと速いサイクルで反映させていくための消費者への「展示」機能の立地、そして、ショールームやスタジオなどを活用した関西発の情報発信機能の立地を備える拠点です。これにより知的人材の交流による新産業の創造に向けた技術的イノベーションや異分野とのコラボレーションによる新しい価値の創造を促進し、地区全体として新しい産業・ビジネスの持続的な発展を図るとともに、関西地域の活性化を牽引します。

また、ナレッジ・キャピタルでは、先端技術・産業分野にとどまらず、世界広くから研究者などが集い、住み、活動、交流し、文化・芸術の香りが高く、新しい学問や価値が生まれる総合的な知的創造拠点をめざします。

ナレッジ・キャピタル構想イメージ図



産業分野におけるナレッジ・キャピタルの機能イメージ図

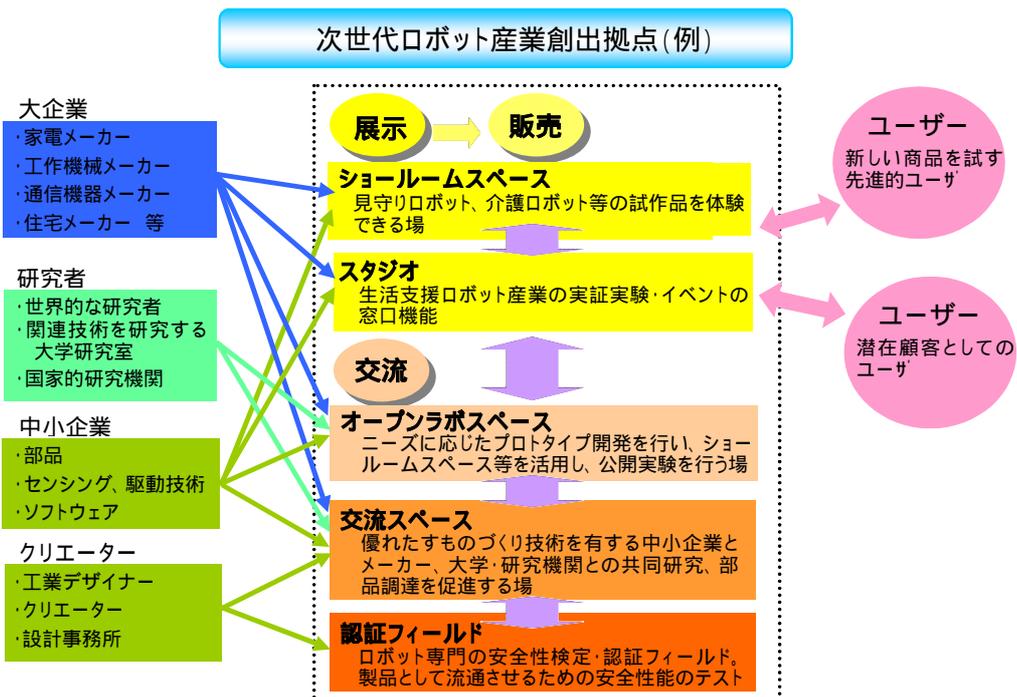


(2) 次世代ロボット産業創出拠点の形成

ナレッジ・キャピタルの構成要素のうち、ロボット産業は、情報、サービス、教育をはじめとする生活関連産業全般を活性化していくものとして期待されています。

関西には、ロボット技術と関連の深いものづくり産業や、応用分野として期待される家電産業の集積、さらに、世界レベルの研究機関や人材が集積しており、それらの密接な連携により、今後大きく発展し、関西の産業を牽引していく可能性を秘めています。

当地区では、こうした関西の特性を活かし、先行開発区域においてナレッジ・キャピタルの先導的プロジェクトとして、次世代ロボット産業創出拠点の形成をめざします。



3. 新たな都心機能の集積

ナレッジ・キャピタルの他に、国際色豊かで、質の高い都心の形成に必要な機能の導入を図ります。ターミナル性を活かした商業・業務などの機能、水・緑の環境を活かした都心居住や宿泊機能、ナレッジ・キャピタルと連動し、国際的な文化・交流・情報発信へ展開する機能の導入を図ります。こうした機能の集積・複合化により、質の高いそしてまち全体が新しい都市のショーケース空間となることをめざします。

国際色豊かで賑わいに満ちた新しい都心機能を形成するために、国内外の多様な人々が交流する場として、まち全体の活動に好循環と発展性をもたらすよう商業、業務、サービス、教育・研究、居住などの機能の導入を図ります。また、様々な個性や才能を有する人々の交流を通じて、知的創造の源泉となる文化を醸成していく機能としてアートやエンターテインメント機能など、あるいは文化や知識のコンテンツを世界中のメディアに大阪情報として発信する機能などの導入を図ります。

【導入機能の考え方】

商業機能

豊かなアメニティを活かした高質の商業機能を連続的に配置することや、地区の顔としてまた周辺の開発拠点等と一体感のある商業機能を導入するなど、その周辺との連携・波及も勘案し立地誘導をめざします。

業務機能

国際・広域拠点としての立地特性を活かし、国内外のビジネス拠点など広域的かつ競争力を持てる業務機能の立地を図ることとします。また、ナレッジ・キャピタルとして新産業の育成を支援する機能や交流・情報発信の機能も備えた業務機能の立地誘導をめざします。

サービス機能

国内外のビジターを受け入れアメニティの豊かな環境を活かした宿泊機能や国際的な交流・展示機能や、高齢社会や高質な都心居住に必要な高度医療機能や健康関連機能の立地誘導をめざします。

文化・エンターテインメント機能

日本、関西の文化性が感じられ、新たな文化や芸術の発信源ともなって、国内外の人を集め魅了できる文化・エンターテインメント機能の立地誘導をめざします。

教育・研究機能

知識・文化・新産業都市の創生に不可欠な先端的技術等の都心型研究・開発機能、学生やナレッジワーカーを育成する教育機能等の立地誘導をめざします。

居住・生活機能

水や緑の環境を活かした国際的な拠点としての居住水準を持ち、高齢社会、安心・安全への対応が可能で高質な都心居住機能やその生活支援機能の立地誘導をめざします。

4. 土地利用ゾーニング

都市再生のための拠点にふさわしい知識、活力、風格、文化、交流を生み出す土地利用をめざします。

地区全体で一体感のあるまちづくりをめざします。

シンボル軸、賑わい軸に沿って、建築物の低層部には軸のイメージにふさわしい商業機能を連続して誘導し、賑わいや回遊性の高い土地利用とします。

先行開発区域（東地区）は、大阪の玄関口としてふさわしい格の形成と将来の開発ポテンシャルの向上をめざします。特に、新産業やビジネスを創出する知的創造拠点（ナレッジ・キャピタル）を先導的に立地誘導します。

西地区では、新駅設置によるターミナル性強化を活かした国際的なビジネス拠点機能、比較的大きな区画を活かした文化・交流機能、広域防災や広域行政等の中枢的機能の立地など、国際的・広域的な役割を果たす土地利用をめざすとともにナレッジ・キャピタル機能の拡充を図ります。

当地区では、関西再生のための拠点にふさわしい知識、活力、風格、文化、交流を生み高める土地利用をめざします。当地区に導入する多様な機能は、それぞれ密接に連携しながら、周辺地域の土地利用とも一体となって相互の機能を強化し、地区全体で一体感のあるバランスのとれたまちをつくります。

また、平面的な土地利用だけでなく、ゆとりと風格のあるシンボル軸、華やかで賑わいのある賑わい軸に沿って、建築物の低層部については、軸のイメージにふさわしい商業機能を連続的に配置し、歩行者の回遊性を高める立体的な土地利用計画とします。

さらに、人の回遊性をより高めるために、駅と民間開発による商業施設等、民間開発相互について地下空間も活用したネットワークの形成が望まれます。また、地下駐車場のネットワーク化など地下空間の効果的な活用を図り、民間開発における駐車需要への弾力的な対応、自動車入出路の集約等をめざします。

(1) 先行開発区域(東地区、約7ha)

当地域は、大阪の玄関口としてふさわしい格の形成と将来の開発ポテンシャルを高める土地利用とし、地区全体の開発コンセプトを基に、一体的な開発をめざします。特に、関西再生に資する新産業やビジネスを創出する知の創造拠点を先導的に立地誘導します。また、駅前から連続して商業の賑わいを確保し、知識、人、情報の交流をより一層高める土地利用をめざします。

以下は、各ゾーンの考え方と主な用途の例を示しています。

ふれあいのゾーン

J R新北ビル計画等と一体となって当地区の開発を先導するにふさわしく都心立地に適した商業施設を中心として業務等との複合化により賑わい・交流の拠点形成をめざします。

(例示)・集客性が高く地区の顔として賑わいを創出する商業施設

・オフィスやシティホテル

等

ナレッジ・キャピタルゾーン

新産業の創出を軸にしたナレッジ・キャピタルの形成を先導するゾーンとし、その一環として、産学官が協調して次世代ロボット産業創出する拠点施設の立地をめざします。

(例示)・オープンラボ、ショールーム、実証実験等が行えるスタジオ、展示・交流スペース

・マーケティング、企画開発、法務・特許関連等の新産業・ビジネス創出のための関連・支援業務施設

・専門店、コンセプトショップ、レストラン等の商業施設

等

よそおいのゾーン

J R大阪駅からの賑わいをできる限り連続させ、質の高い都市活動や都市生活を行えるよう、シンボル軸の豊かな環境を活かした格調高いまちなみ形成にふさわしい土地利用をめざします。

(例示)・ギャラリー、ショールーム、レストラン等水と緑豊かな都市空間を活用した商業施設

・高質な都心型住宅や短期滞在型サービスアパートメント

・国際水準のハイグレードなホテルや文化・エンターテイメント施設

等

(2)西地区(約17ha)

先行開発に引き続く区域では、新駅の設置を図り、ターミナル性が強化されることを活かした国際的なビジネス拠点としての機能、比較的大きな区画を活かした文化・交流機能、広域防災や広域行政等の中核的機能の立地など、国際的・広域的な役割を果たす土地利用をめざすとともにナレッジ・キャピタル機能の拡充をめざします。

また、先行する東地区との一体感のあるまちづくりを図ります。

ひろがりのゾーン

新駅に隣接する立地と広い敷地を活かして、国際的・広域的なビジネス拠点、広域防災や広域行政等の中核機能、さらには質の高い文化・芸術・交流施設等の立地をめざします。

(例示)・国際的・広域的な業務施設

・国際水準の劇場、ミュージアム、コンベンション施設

・文化・エンターテインメント、メディア関連施設

等

ナレッジ・キャピタルゾーン(2)

技術・新産業分野と併せて、文化・芸術や法学・経済学など様々な研究・教育者が集い、交流し、新たな知識を創造し、発信していくなど、東地区のナレッジ・キャピタル機能の西地区への拡充をめざします。

(例示)・大学・大学院、同サテライト等の国際的な研究・教育施設やそれらに関連した業務施設

・質の高い専門店、コンセプトショップ

等

ゆとりのゾーン

シンボル軸での豊かな環境を活かしオープンスペースを多く確保し、ゾーン全体としてゆとりある空間のなかで高質な施設の立地をめざします。

(例示)・緑豊かな都市環境に囲まれたオフィス・ホテル・商業施設

・外国人ビジネスマンの居住ニーズにも対応した住宅や生活支援施設

等

やすらぎのゾーン

シンボル軸の緑の源やアイストップ等としての緑に囲まれ静寂に包まれた環境を活かした居住系の土地利用を中心とした機能立地をめざします。

(例示)・緑地と一体となり自然に触れ合うことができる住宅や生活支援型の商業施設

・地区周辺施設とも連携した高度医療施設や住宅

等

土地利用ゾーニングの考え方

